



# 学校だより

12月号

横浜市立大道小学校  
令和5年11月30日



← 学校 WEB ページはこちらから

\*学校ホームページ(学校日誌)を毎日更新しています。ぜひご覧ください。

校長 加藤 和之

## 「想像」

木枯らしが吹く日があったかと思うと、20℃を超そうかという日があるなど、いつになく寒暖差が激しい11月でした。かつてないほど大雨が降った地域がある一方で、大干ばつに見舞われる地域があるなど、世界規模での気候変動が深刻化しています。私たちはそれを嘆くだけでなく、そろそろ本気で自分の行動について、そして将来の担い手を育てる学校ができることについて考えなくてはならないと思います。

表題は、先日の朝会で、児童支援専任の先生が子どもたちに伝えた言葉です。「皆さん、年度の最初に『こういうクラスにしたい。』と願って、学級ごとに目標を立てましたね。今、その実現状況はどうですか?」と問いかけました。そして、「みんなが楽しく仲良く生活するためには、『今、〇〇さんはどう思っているかな?』『こんなこと言うと(すると)、〇〇さんはどんな気持ちになるかな?』と、想像することが大切だと思います。」と語りかけました。そして、「もし、つらいことがあったら、一人で悩まずに、是非周りの大人に相談してください。」と話しました。

12月は、「横浜市いじめ防止啓発月間」です。「いじめ」は、学校だけの問題ではなく、社会全体で取り組むべきことであるという「いじめ防止対策推進法」の主旨にもとづき、学校や関係機関が連携して具体的な取組を進めています。取組の中に、青少年の健全育成のために、子どもに関わる全ての大人に向けての、「いじめ防止に向けた提言」があります。

いじめから子どもたちを守るため、大人がすべきこと、できることがたくさんあります。

- 多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 子どもたちが、自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てよう。

ここでは、大人同士が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことが、温かく寛容な風土を生み出し、子どもたちを柔らかく包んでいくことにつながると述べています。大道小の地域は、このような「風土」が醸成されており、いつも子どもたちを見守っていただいています。コロナ禍や「SNS」の発達を通して、「face to face のつながり」が希薄になってきている今、学校が家庭や地域と連携しながら、大道小らしい温かな「風土」を育てられるよう、さらに力を入れていきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。そして、「〇〇さん、ちょっといつもと違うな。」という「敏感さ」、そして「きっと、こう感じているのだろうな。」という「想像力」を働かせることを大切にしながら、家庭、地域の皆様と共に、「愛」をもって子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

1年間、ありがとうございました。新しい年が、皆様にとって幸多い年になるようお祈りいたします。